

■授業の目的

教職課程科目を履修し教員免許取得を目指す学生は4年次に中学校か高等学校へ行き、実習校の指導教諭の指導のもとに、実際に学級担任・教科担任として教育実習を行わなくてはなりません。この講義では、そのための事前および事後の指導を行います。事前指導の内容は教育実習の意義、実習校での参観・参加・授業実習、学習指導案の説明と作成などです。また事後指導では各実習生の報告をもとに必要な指導を行います。

■授業の到達目標

この授業では、実際に中学や高校で教育実習に行く上での必要最低限の知識の習得、実践力の養成を目指します。特に、新学習指導要領の内容に準じた、教案の作成を目指します。

■授業計画

〔前期〕	〔後期〕
1 授業紹介 この授業の概要を理解するために、授業で取り上げる主要な内容をそれぞれ簡単に説明する。	1 2
2 教育実習の意義 教育実習とは何か、実習生としての心構え、実習校などについて述べる。	3 4
3 教師の心得—職務と服務 (教師の心得—職務と服務) 教師一般のことについて述べながら、それと関連づけて実習生(教師)のあり方について述べる。	5 6 7
4 特別活動とその指導 学校行事など「特別活動」について述べるが、あわせて「道徳」や「総合的な学習の時間」にも触れる。	8 9
5 教育実習における参観・参加 参観の目的、参観の視点、参加すべき教育活動について述べる。	10 11
6 教育実習における授業実習(1) 実習校における教壇実習についてのビデオテープを見ながら、気をつけるべきことなどを解説する。	12 13 14
7 教育実習における授業実習(2) 前回のテープを思い出させながら、授業の流れに沿って実習生の行うべきことを述べる。	15
8 簡易視聴覚教材の説明と作成 視聴覚教材の効果などについて説明し、その作成の仕方を教える。	
9 学習指導案の説明と作成(1) 学習指導案の説明と作成方法の指導を行う。	
10 学習指導案の説明と作成(2) 学習指導案の点検を行う(高等学校英語、高等学校中国語、高等学校スペイン語)。	
11 学習指導案の説明と作成(3) 学習指導案の点検を行う(中学校英語)。	
12 〈模擬授業とその分析(1)〉 中学校実習終了学生による模擬授業を行い、それについて討論する。	
13 〈模擬授業とその分析(2)〉 高等学校実習終了学生による模擬授業を行い、それについて討論する。	
14 〈模擬授業とその分析(3)〉 3年生による中学校模擬授業を行い、それについて討論する。	
15 〈模擬授業とその分析(4)〉 3年生による高等学校模擬授業を行い、それについて討論する。	

■授業の方法

学生参加型の授業を行います。3年次には学校をめぐる様々な問題についての学習を行います。4年次には、教育実習で使用する実際の教科書を用いて、一人で授業教案の作成、授業実践を行ってもらいます。

■予習・復習

3年次も4年次も学生のプレゼンを中心として行うため、プレゼンの予習が中心となります。プレゼン後の feedback のための復習も必要となります。

■成績評価の方法

試験は行いません。レポート・授業態度・出席状況で評価します。\*出席重視

■教科書・参考書

教科書：教育実習を考える会『増補教育実習の常識』(蒼丘書林)

参考書：授業中に随時紹介します。

■関連する科目

英語科教育法、中国語科教育法、スペイン語科教育法および教職科目